



第3号 (2010 秋号)

美浜町議会だより

発行：美浜町議会 編集：議会広報特別委員会

〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市25-25 TEL (0770) 32-6711



全国市町村交流レガッタ加古川大会 美浜町クルー全艇決勝進出!



目次

九月定例会

平成22年度補正予算 2面・3面

(常任委員会質疑内容)

平成21年度決算内容

(常任委員会質疑内容)

(常任委員会質疑内容)

一般質問

宮下 紀興議員 4面～8面

竹仲 良廣議員

松坂 隆司議員

浜野 健治議員

松田うめ子議員

藤本 悟議員

兵庫 賢一議員

トピックス

有害鳥獣対策特別委員会報告 9面

総務文教常任委員会視察報告

議会の動き

議会の動き

第19回全国市町村交流レガッタ 10面

現地視察

編集後記

定例会

で16日間の会期で開かれました。
審議の上、いずれも原案可決しました。また追加された2議案についても原案どおり可決しました。
上程し、原案可決しました。

平成22年度 補正予算

●一般会計補正予算

補正額
…………… 3億9,316万円
合計額
…………… 75億775万円

民生費

質疑 中央公民館の解体工
事について、JVを
組んで欲しい。

回答 共同企業体への発注
も含め検討中。

衛生費

質疑 かぐや姫工場用地内
にある老朽化した鶏
舎の取り壊し費用が計上
されているが。

回答 本施設の倒壊等の原
因は天災によるもの
であるため予算計上した。
該当建物について契約を
変更し、当該土地を返還
してもらうことを前提に
して解体したい。

●特別会計

○老人医療事業

特別会計補正予算
補正額…………… 529万円

合計額…………… 821万円

○国民健康保険事業

特別会計補正予算

補正額
…………… 686万円
合計額
…………… 12億6,571万円

質疑 今後の保険料の見通
しは。

回答 一人あたり医療費が
県下で一番高額であ
り、したがって保険料は近
隣市町と比べ負担額が高
い。7月が第1期、前年度
と比べ収納率は下がって
いない。

○介護保険事業

特別会計補正予算

補正額
…………… 1,441万円
合計額
…………… 10億2,028万円

質疑 高額医療合算介護
サービスは、要介護
と要支援の分だが、一定
額以上使った場合に負担
するというのが。

回答 医療の中にも限度額
を超える高額医療
のサービスがある。介護

保険と医療保険を合算し、
年額限度額を超えた部分
を後に支給するものであ
り、広域連合から本人に
お知らせをしている。

条例案件

○美浜町分担金徴収条例
の一部を改正する条例の
制定について
(内容)

有害獣侵入防止柵設置事
業に係る受益者負担金
を一律15%とするもの
で、今年度と23年度にお
いて新庄地区で計画中の
恒久柵設置事業を中山
間地域総合整備事業(町
負担25%)と、特措法(町
負担45%)の二本立てで
実施。町負担が増減して
も15%は変わらない。ま
た、事業費は1kmにつき
1千万円、うち地元負担
金は150万円となり、
町内一円に侵入防止柵を
設置すると総延長100
km、総事業費10億円を要
することのこと。

質疑 有害獣進入防止柵設
置事業分担金の負担
については中間集落と山

際集落では、出せる出せ
ないの議論もある。

回答 美浜町も恒久柵につ
いて、山際集落の負
担や集落の境をどうする
か問題があるが、分担金の
内容を説明しながら進め
たい。後の管理のことを
考えると15%の負担は必
要。分担金については、集
落で積み立てをして頂く
なりして考えて頂きたい。

○美浜町集落排水処理施設
基金設置条例の一部を改正
する条例の制定について

○美浜町集落排水処理施
設の設置及び管理に関す
る条例の一部を改正する
条例の制定について

○美浜町国民健康保険条
例の一部を改正する条例
の制定について

追加案件

○教育委員会委員の任命
について

○人権擁護委員の推薦に
つき意見を求めることに
ついて

単位:万円

平成22年度 一般会計補正予算

補正額 3億9,316万円
合計額 75億 775万円

主な事業

就労継続支援事業	2,145
せせらぎ保育園整備事業	12,127
最終処分場用地内建物解体撤去工事	419
有害鳥獣対策事業	1,545
ゆうあい広場施設改修費	2,322
元気な美浜の地域振興支援事業	325
除雪経費	2,762
道路維持事業	2,000

9月定例会は、9月7日より22日まで
 ・平成21年度決算10件を認定し、平成22年度一般会計補正予算など10議案を各常任委員会で
 ・議員発委による意見書を

平成21年度 決算認定

一般会計歳出総額
81億2,088万円

単位:万円

款	決算額	款	決算額
1 総務費	110,114	7 土木費	36,237
2 民生費	133,655	8 消防費	26,066
3 衛生費	103,745	9 教育費	254,254
4 労働費	3,480	10 議会費	8,784
5 農林水産業費	66,796	11 公債費	49,643
6 商工費	19,314		

平成21年度 決算認定

●一般会計

一般会計歳出総額
81億2,088万円

総務費

地域コミュニティバ
ス運行事業について
病院や学校の便と福
鉄バス路線の補充、要
望でJR美浜駅の乗り継
ぎの利便性を考慮し運行。

質疑

公立小浜病院につい
ては、今後の町の負
担は。

民生費

本年度に経営の「評
価委員会」を立ち上
げる中で検討。

回答

NPPO法人の活動に
ついて。

質疑

うまく民間にバトン
タッチするか判断
は重要。課題として検討
したい。

回答

かぐや姫工場の運営
費補助の見直しは。

質疑

育苗マットの販売特許
はこべの家がとった
ため、明るい兆しが

回答

ある。現在5人の障がい
者が雇用されている。

衛生費

健診の受診率も高く
なつて良い傾向だが。
今年度ベットの健診募
集を20件から30件に
拡大。

質疑

若狭美浜物産展事業
と観光PR強化事業
とは。

回答

県外の出向事業に
使っている。

教育費

美浜中学校改築事業、
ネットの問題、グラウ
ンドの問題についてどう
対処するのか。

回答

今後延長を含め学校
と相談したい。

●特別会計決算

○診療所事業特別会計

公債費について、東部
の医師住宅を3年前改
築したが、使用させるのは
医師しか考えてないのか。
県と協議して、町とし
て研修医の受け入れ

質疑

1億6,351万円

回答

介護保険制度スター
トから10年、美浜町
の老人福祉の将来像は。

を考えている。

○国民健康保険事業 特別会計

12億5,034万円

○老人医療事業特別会計

1,440万円

○後期高齢者医療事業 特別会計

1億1,203万円

○介護保険事業特別会計

9億2,425万円

○簡易水道事業特別会計

1億5,615万円

○集落排水処理事業 特別会計

1億9,732万円

○公共下水道事業特別会計

6億5,763万円

○上水道事業会計

収入的収支
水道事業収益
1億4,105万円
水道事業費用
1億3,112万円
資本的収支
資本的収入
1億4,825万円
資本支出
1億7,958万円
未収金は。

○簡易水道事業特別会計

滞納件数238件、
給水停止は3名。ひ
とは徴収済につき解除。

質問



宮下紀興 議員

質問①

関西電力(株)美浜発電所1号機の運転延長の許可はいつ頃

町長はハートフル対話で美浜1号機の運転延長の問題を住民に説明されてきました。7月14日には原子力保安院より安全審査報告を受けました。8月11日に町議会では後継機の設置を条件とし、更なる安全対策実施を前提に美浜1号機の運転延長を了承する方針を決めました。その後、8月25日には原子力安全監視委員会が住民の声を聞かれています。これらを受け、町長はこの課題をどう考えておられるかお聞き致します。

回答・町長

諸般の事情やご意見を充分勘案した上で適切な時期に判断したい

美浜1号機については関西電力(株)から6月28日に延長の主旨についての報告を受けました。内容は最長10年程度運転を継続したいと言う運転方針と、後継機の設置の可能性について検討を始めたこととです。私はかねてより町民の安心・安全の確保を最優先に町議会の御意見、監視委員会からの意

見を踏まえて判断したいと考えております。又、関西電力(株)が長期保守管理方針に定めた高経年化対策を着実に実行し、国が確実に確認をして行くことで安全運転は可能と考えております。県の原子力安全専門委員会の審議内容や美浜町内の意見を十分に聞き判断したいと考えております。

質問②

町の結婚相談所と結婚支援対策は

町は「ときめき出会いサポーター事業」を創設し、出会いの場、交流応援事業等をサポーターされていますがこれらの状況をお聞きいたします。相談員の方々のご苦労は大変だと思えます。相談員の増員や活動し易くする補助等、結婚を増やしていく為の対策についてお聞きいたします。

回答・町長

町の関係団体、企業の協力を得て、積極的にこの事業を推進したい

この課題は少子化対策や子育て支援の事業と共にハートフル対話等で多くの要望をお聞きしております。本年度「ときめき出会いサポーター事業」を創設し、美浜町婦人福祉協議会が中心となって実施してきた結婚相談事業に加え、結婚支援イベントを主催する企業や団体を助成する事業も設けました。結婚したカップルへの祝い金事業もあり、町のホームページで結婚対策イベント情報を流す事業も提供しております。

回答・健康福祉課長

結婚相談は婦人福祉協議会で2名の相談員が定例日に対応しています。嶺南4町との連携も図っており、出会いイベントの団体申し込みも複数あり検討に入っています。若い人から中年まで参加できる出会いの場を設けます。

質問③

町の第一次産業の支援については

現在美浜町は原子力発電産産業を核として、他の産業が共存をしております。第4次総合振興計画には「町に活力を」を基本理念として第一次産業を守り育てていく事が謳われています。第一次産業の後継者育成が急務となっておりますが、どのように進めていくおつもりかお伺い致します。

回答・町長

農林水産業の後継者育成に積極的な支援をしたい

農業面では認定農業者、集落営農組織に対して機械リース事業支援、新規農業者サポーター体制、給食センターを活用した消費支援等を行っています。林業については統合された「れいなん森林組合」に対して直接、間接的な事業支援をしています。漁業については定置網漁船の乗組員の育成等を通じて後継者育成支援をしていきますし複数の漁業体験施設の設置等、支援を実施し漁業振興策を取って行きたいと考えています。



竹仲良廣 議員

質問①

山口町長の4選目の出馬はあるのか

平成23年3月6日で町長任期が満了になる訳だが、それに伴い平成23年2月に実施予定の町長選挙に再出馬されるのか、その真意と現在の率直な気持ちをお聞かせ願いたい。

回答・町長

過去3期の実績を町民の皆様の評価を頂いた上で、御理解と御支援が頂けるならば次の4年間引き続き町政を預らせて頂きたい

この4年間を振り返ると、長年の課題であった27号線バイパスの完成、公共下水道、集排事業の完成、保育所の再編、更には企業誘致の実現など幾つかの事業の成果を上げることができた。今後①エネルギー環境教育施設を整備して、子どもから大人までの教育学習の充実 ②原子力発電と共生して、安全文化発祥の地としての美浜町からの発信 ③体験学習の推進と企業誘致による産業の育成。以上の大きな3つの

般

政策を掲げ進める必要がある。この政策実現に向け町民の皆様の御理解、御支援が得られるならば、これが最後と思う気持ちで、この後の4年間、町政を預らせて頂きたいと決意している。

質問・②

町営住宅の現状と今後について

現在、美浜町に於いては16箇所町営住宅があるが、特に老朽化した住宅が多くあり、その実態はどうか。特に佐田郵便局下住宅は築56年、佐田宮ノ前住宅と美浜中下住宅は築52年、金山住宅と木野住宅は築38年と総てが新耐震基準制定（昭和56年）以前の建物であり、耐震的にも環境面からも住居として多くの不安を抱えていると考えるが現状はどうなっているのか、早急な対策もしくは解体、改築等を考えているのか。

回答・町長

入居者の意に沿って対応して行きたい

美浜町の町営住宅の実態は、全部で270戸有り、世帯当たりの住宅戸数は県平均の24倍で県下トップである。築30年以上経過している住宅は40戸あり、そのうち27戸は入居している。この中で、共同住宅については、3階以上で床面積が1,000㎡以上の建物が耐震改修の義務がある。町の対応としては、入居者からの申し出や、現地を見

回り危険が伴い、生活上支障をきたす主要な躯体部分の修繕が見つかった場合、早急に補修している状況である。又、耐用年数を経過した住宅は、入居者の撤退を待つて用途廃止、除却を考えている。また新規入居募集をやめ、現在の入居者に新しい建物への移転を勧める事も考えたい。それから新しい住宅建設は国の施策、県の施策等を確認しながら、人口増加対策としての重要な部分であるので検討したい。

回答・土木建築課長

入居者の住宅間移動等の便宜は図れる。また入居条件や家賃等は公営住宅法に沿った対応をしている。



松坂隆司 議員

質問・①

観光分野を基軸とした、まちづくりの今後の戦略は

6月の一般質問に引き続きお聞きいたします。内容の要旨は3点ございます。①最近の観光分野における集客状況とその内容分析を自己採点・評価する②昔と比べて何が違い、何が対応できていないか。次世代にどう繋ぐか③観光として計画的、戦略的に仕事場を企業誘致条例等も含め雇用創出が必要だと考えるが、以上をPDCA, ERRC戦略を基礎として、現状で認識している事、今後の戦略性についてお聞きしたい。

回答・町長

観光客のニーズに合った体制、情報の提案が有れば最大の支援をしたい。

美浜町の観光客は平成2年を最大として減少を続け、昨年は統計上82万1,000人となっています。夏季観光客は若年層を中心に海離れが進んでいて、海水浴と見る観光だけでは成り立たなくなっています。海水浴等、自然の恵みで観光を支える事が出来た為、極論するとそれ以上の策を早めに講じていなかった事も有り、それを根本的に変える必要が有ると考えています。昨年はあとふる体験は4,000人を超え、民泊の増加に繋がり、大敷網、ボート、そして山を中心とするメニューに人気があります。これら体験学習を通じて農林業や、水産業の活性化を図ったり、伝統文化の誇れるものを伝えた

りして行きたいと考えております。現在福井県立大学に地域内の経済効果、調査分析をお願いしています。新たな取り組み（計画）としては新規観光資源の発掘、既存施設を活用した体験学習の推進、例えば新庄の里山、久々子のしじみ、日向の大敷網、丹生のシーパーク、国吉城等の歴史的遺産、地域産業施設等外部の目で見えて観光に繋げる可能性も模索しています。「へしこ」についてもキャラクターのへしこちゃんをフルに活用して増産、雇用拡大の夢を描いております。今後も体験学習等を伸ばし宿泊客の増大を課題としておりますが、重要なのは行政に頼らず、新たに立ち上げた観光懇談会等で観光業を営む後継者が中心となり、いろんな観光活性化の提案がいただけるなら、その実現に向けて行政が最大の支援をして行きたいと考えております。PDCA, ERRC等系統的に回答できる状態には有りませんがお許しを。

回答・企画政策課長

一例として、へしこ館の助成については後方スペースの製造加工部門に対して雇用が絡むという事で企業誘致条例の対象に該当し助成を致しました。

質 問



浜野 健治 議員

質問・①

今後の高齢化社会に向けて、高齢化の構成層に対しての諸施策、諸施設は充分か

美浜町の人口構成は65才以上が3分の1を超え、今後もその率は上がって行きます。

①「美浜町第4期介護保険事業計画及び老人福祉計画」の町民への啓蒙活動状況は

②現在の公共施設と収容能力、利用率、待機状況は

③高齢者支援センターの活用状況は
以上をお聞きいたします。

回答・町長

住民への啓蒙活動も含めて、更に細かな対応を

「第4次美浜町総合振興計画」の中の高齢者福祉分野で高齢者福祉の充実を掲げており、高齢者施設の基本的な考えとして「一人ひとりの高齢者が、住みなれた地域の中で、その人らしく、自立していきけること」としています。また本計画に基づき、介護保険サービスの適正な利用、地域密着のケアの推進等

重点課題に対して専門的、個別的に対応するために「美浜町第4期介護保険事業計画及び老人福祉計画」に基づき施策を展開しております。総合的には地域の健康づくり、生活習慣病の予防、健康診断受診率の向上、高齢者の生活の質の向上、介護サービス、要介護、要援護者支援、高齢者福祉サービス等の施策を進めたいと考えます。施設の計画としては地域密着型の小規模特別養護老人ホーム(29人以下)の整備を進めております。

回答・健康福祉課長

高齢者支援センターでは一般的には「よろず相談所」として介護保険、高齢者福祉政策全般の相談を受けております。特別養護老人ホーム湖岳の郷の定員は80人で充足。同デイサービス部門定員20人に対し日平均14人の利用、登録者は20人超。同早瀬グループホーム定員18人で充足。佐田ほほえみ定員35人で日平均26人。社協の運営する施設、郷市定員10人、日平均9人。同佐柿定員10人、日平均10人、山上定員10人、日平均9人となっています。特別養護老人ホームの待機者数は希望者としては約60人を超えております。

質問・②

最近の異常気象現象に対応する美浜町の防災体制は

今回の町長の所信表明の中に防災資器材、連絡網の再点検、地域防災組織の

整備、要援護者の避難支援体制の整備、地域防災訓練の実施と有りますが説明をお願いします。

又、あらかじめ災害を予測した防災マップの作成や危険場所の近くには防災資器材の準備が必要かと考えますが町の考え方をおしめして下さい。

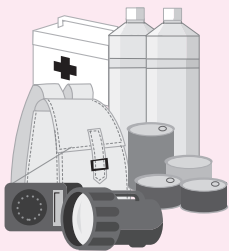
回答・町長

地域に密着した防災計画になるように見直しを早急に進める

平成18年9月に作成した地域防災計画は4年を経過して最近の集中豪雨、土砂災害、強風災害等に合わない部分もあり早急に見直す事で進めております。その中には土砂災害や洪水災害の危険性の高い地域を示すハザードマップや各地域の避難場所等の情報を入れて、住民に説明配布をしたいと考えています。それと共に自主防災組織を設置し、住民の防災対策・意識の醸成を図っていききたいと考えております。

回答・住民安全課長

現在、防災資器材として美浜消防署の東側の倉庫に飲料水1,200本、毛布610枚、オムツ1,600枚、おかゆ1,500缶備蓄している事をお知りおきください。



質問・①

若狭医療福祉専門学校の現状は誘致時の目的に合致しているのか

2008年、開校した若狭医療福祉専門学校の充足状況は如何でしょうか。また、多くの学生が町内にとどまり生活する事で、経済波及効果を期待しておりましたが、町内に宿泊施設が少ないため隣接する市町から通学する学生が多く居ます。この人達が町内に生活圏を持てば経済効果は大きいと考えますし、町の活性化にも繋がると考えますが対策はいかがですか。

回答・町長

学生は増える傾向、町内在住の促進努力をしたい

介護を必要とする人口増やそれに携わる人の需要は多くなって来たという事と、国の政策転換もあって、入学人数は大幅に増えたと報告を受けております。又、若い人が町内のいろんな催し物に参加してくれています。そういった意味で町の活力、活気に繋がっています。定住構想についても町内の事業者との交渉を続けており、1社は既に



松田うめ子 議員

般

大敷で経営されており、今後も努力をして行きたいと考えております。

回答…企画政策課長

若狭医療福祉専門学校の充足状況ですが全体の定員240名に対し現在は182人で75%の充足となっております。介護福祉科2学年の定員80人に対し、79人、理学療法士科は3学年の定員120名に対し84人となっていて、両科は全国的に入学希望者も増加しており、若狭医療福祉専門学校でもその傾向は出てきております。医療秘書科ですが2学年の定員40名に対し19人と半数に満たない状況なので次年度から入学を止め、需要を予測して医療保育科を設ける予定をしています。

質問…②

有害鳥獣対策の恒久柵の早期設置を

野生獣による農作物の被害は拡大するばかりの状況で、一日も早く、美浜町内一円に有害鳥獣侵入防止柵の恒久的なもの張ることが求められています。恒久的の侵入防止柵についての計画は説明を受けていますが、完成は何年くらいを目途に行われるのか計画案を示してください。また、費用については核燃料税の嶺南枠使用分にて有害鳥獣対策にも使えらると思うのですが、早く恒久柵の設置が出来ないのでしょいか。更に、この有害鳥獣対策については広域連携での取り組みが重要と考えます。嶺南全体がひとつになり県に対策を講

じるよう強く要望すべきと思うがいかがですか。

回答…町長

早期実現に最大努力、要望を

有害鳥獣対策については緊急切迫感を持って取り組んでおります。町内山際100kmを囲う恒久柵は1m約1万円で10億の経費を伴います。早期全面設置を考えておりますが、提案しております条例の地元負担15%の御理解も頂きたいと考えております。新庄地区10kmは21年度までの計画で何とか実施しますが22年度以降の計画は政府の体制も変わって、資金的に具体的計画をお示し出来ない状況にあります。しかしながら恒久柵の整備が早期に出来る様に、県、国に対して予算拡充を強く要望して行きますので御理解を賜りたいと思います。核燃料税の財源についてはこれからの折衝になると考えます。嶺南一円連携を取りながら財源も共同歩調で取り組みたいと考えます。



藤本 悟 議員

質問…①

美浜町有害鳥獣対策推進体制の更なる強化継続を

美浜町有害鳥獣対策推進体制が確立され、集落推進リーダーを中心に勉強会が開催され、その関心度の高さと共に、真剣に対策に取り組む姿勢を感じております。このような推進体制は被害がゼロになるまで継続してこそ効果が上がります。更なる強化推進について町長のお考えをお聞きます。

回答…町長

意見を聞きながら継続推進をしたい

有害鳥獣対策については、捕獲体制の充実、被害防止の啓蒙活動と追いついていくとして、恒久柵の設置が必要不可欠と考えております。これを前に提議の特別委員会や協議会の意見を聞きながら継続的に整備をして行きたいと考えております。

回答…農林水産課長

有害鳥獣対策推進体制は大きく二つの柱で推進しております。一つの捕獲体制の充実については猟友会と狩猟免

許を取得した一般農業者で進めるものとしてこれまで44名の方に狩猟免許を取って頂きました。10月以降、猟友会員と共に年間を通じて捕獲をして行くことになっております。二つ目は普及啓発体制ですが現在各集1名の推進リーダーを中心として対策の勉強会を開催しております。内容は有害鳥獣の生態を知り、有効な防獣体制を築いていくという主旨で継続的に実施して行きます。

質問…②

防災上の危機管理体制の整備をお願いしたい

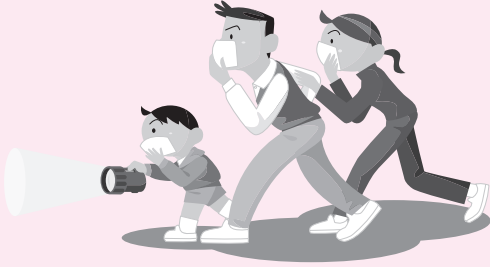
先ず春先の強風は最大瞬間風速の大きい順に4月27日の31.7m、3月4日の31.1m、5月23日の29.7mでした。被害は家屋の損壊、ビニールハウスの崩壊です。又今年の気温は最高36.4℃、8月の平均気温は29.2℃で観測史上1位の記録であります。多くの方が熱中症と診断されております。今年現在までの降水量では短時間では有りますが8月30日に10分間10.5mm、そのほか5月、7月に10分間10mmの雨量観測が数日あります。ゲリラ豪雨の兆候と見ることが出来ます。町内各地に雨量計の設置、代表的な河川に水位計の設置の必要性を感じます。土砂災害危険区域のハザードマップ、避難箇所、避難ルートの再確認等、自然災害対策に対する町長の考えをお伺い致します。

一 般 質 問

回答・町長

いろいろな災害に学んで、災害に対応できる防災組織の見直しを実施する

議員の質問の通り、毎年春先の強風、平成11、17年の町内での集中豪雨災害等自覚しております。これを踏まえ広報での町民への災害に対する備えの啓発、災害時の情報収集とパトロール、音声告知放送を活用した情報提供、地震を想定した防災訓練の実施、気象台や高速道路公団との情報交換等、あらゆる場面を想定して対応策を検討しております。併行して自主防災組織の見直しを指示しております。ハザードマップの作成、避難所、避難ルート、要援護者の救済等、地域住民にとってより身近で役に立つ防災組織を整備します。御指摘の雨量計、水位計については設置の効能を良く調査して検討を致します。



兵 庫 賢 一 議員

質問①

美浜町の事業仕分けの必要性は

国政において事業仕分けの作業が行われております。無駄を洗い直すという意味合いにおいては大変重要な事だと感じております。美浜町に対する影響は無いのか、現在で予測・判断できる範囲でお教え願います。又、同様に美浜町においても見直しの必要性は無いのかお答え下さい。ハートフル対話は継続しますか。

回答・町長

事業決定のプロセスが確立しているので仕分けは不要

美浜町まで影響の有った項目は子育て応援特別手当の廃止が有りました。子育て支援策を強力に推進するために従来の児童手当から、子ども手当により高額な制度改正になりました。電源立地地域対策交付金は仕分けの対象になりましたが減額は無く、裁量拡大が見直しとして決定致しました。「ひも付き補助金」は一括交付金化となりましたが具体的な内容は未定です。農林水産課の部分で鳥獣被害防止総合対策交付金に一元化され、加えて減額され

ため恒久柵等に当てていた資金が不足致します。これらが主なところで町の事業仕分けについては該当する事業を決めるプロセスがあり、町民の代表、議会の代表、その他の有識者でもって計画された総合振興計画に基づく事業を予算化し、更に議会、あるいは委員会を通じて決めておりますのでその必要性は無いのではないかと考えております。ハートフル対話は方法を変えることは有っても継続します。

質問②

原発依存症からの脱却を

美浜1号機の運転継続の方針が会社から示され、町議会としても対応・方針も出しました。「原子力との共存共栄を図る」それは実情に沿って大切な事ですが「原子力が無くなったら何も残らない」では情けない限りです。原子力から脱却出来る様な財政、地場産業の活性化等考えを聞かせて下さい。

回答・町長

原子力事業は成長産業、共存の中で他産業の育成を

政権交代後も低炭素化を伴うエネルギー政策として原子力発電を一層推進する方針が示されています。県の政策懇談会でも福井県、原発15基の技術、人材を活かして新たな産業の創設に貢献したらと進言しております。まだまだ原子力発電は成長産業と考えておりますので美浜町としてもその財源の活用、雇用の場を確保しながらバランス

良く他の産業の育成をして行くべきと考えております。

質問③

協働のまちづくりと行政の対応は

町では昨年「美浜町協働のまちづくり推進基本方針」が提唱され推進されておりますが、行政がそれを支える体制になっていないと思えますが如何ですか。実例としては春先の突風で被害の出た家屋の廃材の処理や、溝さらえ後の土砂の廃棄方法に対する対応です。

回答・町長

住民により効果的な公共サービスを提供できる支援体制を確立

協働のまちづくりの基本的な考えは、昔あった助け合いの精神が、環境の変化、即ち核家族化、少子高齢化、集落機能の低下、住民権利者意識、個人主義の台頭等で希薄化しているのを、もう一度行政がより効果的な公共サービスが提供できる環境づくりをして、互助精神を立て直そうとするものであります。その一つとして自主防災組織を整備しています。

回答・住民安全課長

災害の被災で発生した大型ゴミの処理については、今回の経験をもとに検討させて頂きます。自主防災組織は本年各区長に立ち上げをお願いしたところですが、立ち上げに必要な初動備品の支援についても検討しております。

TOPICS

トピックス

有害鳥獣対策特別委員会活動報告

深刻化する一方の有害鳥獣による被害を何とかくい止めるべく、今回議員が改選されて初めての3月議会に於いて、当委員会が設置されました。

藤本委員長以下7名の議員で構成され、今日まで精力的に活動しております。去る7月14日に開催された委員会での審議の内容、勉強会への参加やアンケート調査など、活動の一端をご報告いたします。

質疑 ワナ免許取得者の有効期間と捕獲可能期間、捕獲可能場所

回答 免許は9月15日から3年間有効で、保護区でも可能。7月1日から猟友会のメンバーに捕獲を依頼し、開始している。

質疑 捕獲対象動物は、又、箱ワナの運搬・移動等は誰がやるのか。

回答 イノシシ・シカ・サルが対象。箱ワナの管理は捕獲員が行う。運搬・移動は、一人で可能な組み立て式で、軽トラックに乗る大きさ。

質疑 ワナの貸与数は、仕掛ける場所。又、実際に仕掛ける期間。

回答 1人に一基貸与。見本は庁舎裏に展示。被害に応じて出没場所の近くに仕掛け、看板を掛け表示する。

質疑 くくりワナ・箱ワナを家の近くに仕掛けると、犬・猫が掛

かるのが心配である。

回答 仕掛け場所には表示があり、注意が必要。錯誤捕獲は直ぐに放つ。その為に、頻繁に点検するのが規則である。

7月18日には、県立大学小浜キャンパスで開催された有害鳥獣対策研修会の講義と現地研修にも参加しました。また、委員会で検討し作成したアンケートを、各有害鳥獣対策集落推進リーダーに被害状況の調査を依頼し、8月30日現在の被害状況集計表を作成し、被害状況を検討しました。

尚、議長・副議長が視察した、和歌山県日高川町の有害鳥獣対策において、同町ではイノシシ・シカを食する食文化があり、それを捕獲する体制と食肉用の加工場が整備されている旨の報告があり、関心の持たれるところではあります。何れに致しましても、今後恒久柵の設置等、ステップアップした対策を展開する状況になってきております。議会としましては、町民の皆様と共に力をあわせ、安全・安心出来るまちづくりを努力してまいります。



総務文教常任委員会視察報告

①視察先 長野県千曲市

視察目的 千曲市が取り組む、食品ブランドの取り組みについて

千曲市は、長野市の南隣に位置し、平成15年に旧更埴市・戸倉町・上山田町が合併し、人口6万3千人の新しい町である。日本一の『あんずの里』、戸倉上山田温泉が有名で、千曲川が市の中心部を流れ、2つの高速道路が交わり交通の利便性が高く、五木ひろしの『千曲川』の歌碑が公園に建立され、美浜町とも縁のある町とも感じました。

同市は、従来から食品加工業者が多いこともあり、『地域ブランドセミナー』として加工食品からスタートし、自分達の自慢できるものを再発見・再開発し、地域全体で連携しながら『まちおこし』をしようというのが基本的な方針。

一般的に『ブランド』とは、当地の代表的な商品を全国発信するのが通常と思っていたが、『千曲ブランド』はそうではなく、現在存在している各会社の申請した商品80品目全てを町のブランド品として認定するというもので、中でも『信州千曲みそ』なんかは、10品も認定しているため、同様の商品でもメーカーの違うものも多く見受けられ、ユーザーとしては、幅が広くブランド品として、選択し難いのではないかと。商品を何点かに絞って、販売を拡大する方が良いように思えた。ブランド品を確立する方法としては、少し欲張りすぎ・深みにはまっているように感じられました。

当美浜町としても、行政と企業の関連性や戦略性、ブランドとしての育て方も含め、学ぶ点多々あり。今回の視察で『地域ブランド』というものは、自分達の文化を他人に伝える強い情報発信力が必要であると痛感しました。

②視察先 長野県長野市

視察目的 長野市が取り組む給食センター運営と民間委託について

我町における行財政改革の一環として、学校給食センターの民間委託が検討課題に上っております。議会として如何に対応すべきか勉強のため、今回の視察を実施しました。

長野市の給食センターは、規模の大小を含めて9箇所あり、その内の一箇所(第二学校給食センター:約8千6百食)を、施設の老朽更新のタイミングに合わせた民間委託。結果として人件費の削減は、正規職員の配置転換に伴う一時的な増額はあったものの、外部委託による削減額が増額を上回り、費用目標を達成しています。

民間委託のコンセプトは行財政改革であり、民間で出来ることは民間に委託することで、官民双方に活力(競争・改善)を生む原理をあげています。これは、給食センターが何箇所も有る事でなし得る事でもあります。外部委託に持ち込んだ行政の努力は大きく、更に外部委託により、安全衛生管理を業者に任せられるという、目に見えない当事者の安心感が何えました。

我町と比較して、正規職員の配転場所が確保されていた事、実績ある受託業者があった事、委託と同時に設備改善が出来た事等が成功因です。

当町の場合、この配転の課題、設備・手順の押し付けに、対応して受ける業者があるかどうか(業者の手順を受け入れれば容易)が課題のひとつとなろうかと考えます。



議会の動き

- 7月**
 - 26～27日 総務文教常任委員会視察研修（長野市）
- 8月**
 - 11日 全員協議会
 - 23日 全員協議会・議会運営委員会
 - 24日 生涯学習センター（仮称）建設委員会
 - 26～27日 敦賀美浜地区自衛消防団操法大会
 - 29日 第16回美浜地区自衛消防団操法大会
 - 31日 公立小浜病院組合議会
- 9月**
 - 7日 第6回美浜町議会定例会開会本会議・全員協議会
 - 御岳山トネル安全祈願祭
 - 8日 全員協議会
 - 9日 全員協議会
 - 10日 全員協議会
 - 11日 第22回東京美浜会総会（議長）
 - 12日 美浜中グラウンド竣工式、美浜中体育祭
 - 13日 本会議（一般質問）
 - 14日 総務文教常任委員会
 - 15日 産業厚生常任委員会
 - 16日 現地視察
（シーパーク丹生、竹波地区の猪被害農地）
- 10月**
 - 12～13日 産業厚生常任委員会視察研修（加賀市・羽咋市）
 - 17日 第23回美浜町民レガッタ
 - 18日 議会広報特別委員会
 - 20日 美浜町戦没者追悼式
 - 22日 本会議（3日目）
 - 25～26日 全国市町村交流レガッタ加古川大会
 - 29日 公立小浜病院組合議会
 - 30日 議会広報特別委員会

全国交流レガッタ & 町民レガッタ参加



9月25～26日にかけて、兵庫県加古川市において第19

回全国市町村交流レガッタがあり、私たち議会議員も町民の代表5クルーと一緒に参加させていただきました。Aチームは議会議員シニアの部に、Bチームは議会議員の部にそれぞれ出場し奮闘、仲良く6位に入賞しました。共に出場した美浜のクルーは全て決勝に進出し、青年女子の部で久々子の3位を筆頭に、優勝は逃しましたが、ほとんど上位に入りました。その後、町民レガッタが10月17日に開催され、スーパーシニアの部に出演した議会Aチームは準決勝で敗退しましたが、シニアの部で議会Bチームは準優勝となりました。

現地視察

シーパーク丹生、竹波地区の有害鳥獣被害実態状況

9月16日午前10時より、この度丹生に完成した漁村再生交付金事業シーパーク丹生を視察いたしました。平成16年度から基本設計が始まり、21年度で約6年かけて完成いたしました。総工費5億3千万円でそのうち国、県の補助金3億7,735万5千円、起債1億1,990万円、一般財源2,479万5千円、地元負担金795万円です。漁業体験を中心として既存施設を有効活用しながらつり桟橋整備により魚釣り、人口磯整備による採貝、既存海浜拡充による地引き網体験及び海水浴場の形成を可能にすることで多彩な漁業体験メニューを可能にできる施設です。今後5年間は丹生漁港環境広場管理組合が指定管理者として経営に努力されます。多くの人でにぎわうといいですね。

次に、竹波地区の猪の被害に遭った田んぼの説明を受けました。電柵をわざと取り付けずに1か所にイノシシの被害が出ることを承知で作付けし、他の稲作田を電柵しながら被害を最小にしようと試みたが効果がなかったとの説明を受けている間に、イノシシがあぜ道を猛スピードで逃げていきました。また、小型檻（大きさ1畳くらいで、移動が簡単）では、その後イノシシを3頭捕獲したということです。9月議会では新庄区の有害鳥獣対策予算が可決されました。



編集後記

9月議会は連日の残暑たいへんに厳しい中で行われました。平成21年度の決算の認定、主要施策の成果、税の滞納、使用料金の未収納等決算の審査に充分時間をかけました。議会開会中には立派に完成したグラウンドで美浜中の体育祭が行われ、一般質問7名は平成10年9月以来でした。暑い中にも熱い議論が行われ、また美浜町分担金条例の一部を改正する条例の制定には総務文教常任委員会では否決、本議会においては原案通り可決されました。

